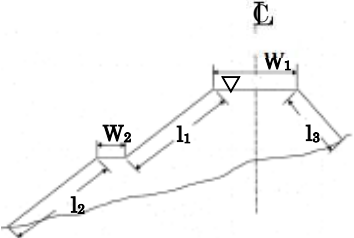
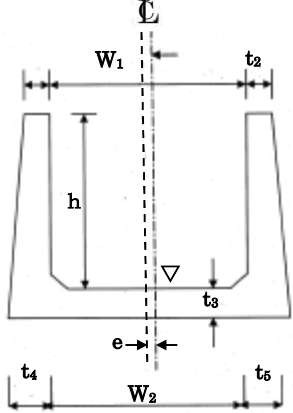


出来形管理基準及び規格値 第24編 ため池編

●：出来形管理図表を作成する。
△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

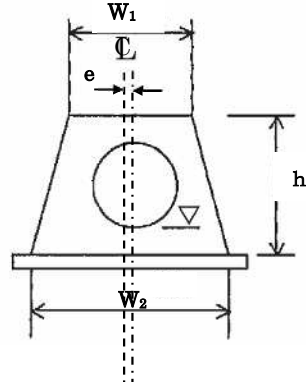
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
24 ため池編	1 ため池	4 堤体工			堤体工	基 準 高 ▽	● ±100	1. 施工延長おおむね20mにつき1ヶ所の割合で測定。 2. 一施工単位2ヶ所以上測定。		24-1-4 1. 鋼土の幅は、盛土高1 m 毎に管理する。 2. 測定は原則として水平距離とするが、法長の場合は斜距離とする。 3. 出来形測定と写真は同一箇所で行う。 4. 出来形図は、横断面図を利用して作成する。
						堤 幅 w1～w2	天端幅、小段幅等 ● -100			
						法 長 l1 ～l3	● -100			
						施工延長 L	△ -200			
24 ため池編	1 ため池	7 洪水吐工	2		洪水吐工	基 準 高 ▽	● ±30	1. 施工延長1スパンにつき1ヶ所の割合で測定。 2. 箇所単位のものについては適宜構造図の寸法表示箇所を測定。		24-1-7-2 スパン長の標準を9 mとした場合
						厚 さ t1～t5	● ±20			
						幅 w1～w2	● ±30			
						高 さ h	● ±30			
						施工延長 L	△ -150			
						スパン長 l	△直線部±20 △曲線部±30			
						中心線のズレ(e)	●直線部±50 ●曲線部±100			

出来形管理基準及び規格値 第24編 ため池編

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
24 ため池編	1 ため池	8 取水施設工	2		取水施設工 (樋管工)	基 準 高 ▽	● ±30	1. 施工延長10mにつき1ヶ所の割合で測定。 2. ジョイント間隔については、1本毎に測定。 3. 箇所単位のものについては適宜構造図の寸法表示箇所を測定。		24-1-8-2 1. 基準高は管底を原則とする。 2. コンクリート二次製品の場合である。 3. 底樋がトンネルの場合は、別途定めること。 4. 斜樋等付帯構造物の、基準高は取水孔（ゲート中心）の標高とし、高さは斜面直角方向とする。	
						厚 さ t	● -20				
						幅 w1～w2	● -20				
						高 さ h	● -20				
						施工延長 L	△ -150				
						中心線のズレ（e）	●直線部±50 ●曲線部±100				
24 ため池編	1 ため池	8 取水施設工	3		ゲート製作据付工 (土砂吐ゲート等)	基 準 高 ▽	● ±30	1. 施工延長10mにつき1ヶ所の割合で測定。 2. 一施工単位 2ヶ所以上測定。 3. 箇所単位のものについては適宜構造図の寸法表示箇所を測定。		24-1-8-3 24-1-8-4 24-1-8-5	
			4			厚 さ t	● -20				
			5			幅 w	● -20				
						高 さ h	● -20				